

平成 24 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 米 田 光 伸
 (JASDAQ・コード番号：3857)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 長 伊 藤 信 博
 電 話 0 3 - 6 7 5 7 - 0 1 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した平成 24 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想修正の内容

平成 24 年 3 月期通期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 5 月 13 日発表)	33,500	1,500	1,235	470	円 銭 10.86
今回修正予想 (B)	33,800	1,800	1,550	520	円 銭 16.65
増減額 (B-A)	300	300	315	50	—
増減率	0.9%	20.0%	25.5%	10.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	33,413	1,489	1,301	851	円 銭 25.73

(注) 1株当たり当期純利益の金額は、平成 23 年 5 月 13 日の決算短信で公表いたしました平成 24 年 3 月期の連結業績予想において 10 円 86 銭としておりましたが、平成 23 年 6 月 24 日付で A 種優先株式 10 株のうちの 5 株を消却したことにより、消却日以降の決算発表においては 14 円 67 銭として開示しております。

なお、平成 24 年 3 月期通期の個別業績予想につきましては変更ありません。

2. 業績予想修正の理由

(1) 売上高

大規模な個人情報漏えい事件や企業・官公庁をターゲットとした標的型メールによるサイバー攻撃が後を絶たず、情報セキュリティに対する関心が一層高まるなか、セキュリティソリューションサービス事業 (以下、SSS 事業という。) において、コンサルティングサービスや運用監視サービスの受注が引き続き好調に推移し、連結売上高は 338 億円 (前回予想比 3 億円、0.9%の増加) となる見通しです。

(2) 営業利益、経常利益、当期純利益

SSS事業において、サービスの受注が引き続き好調に推移すること、システムインテグレーションサービス事業およびディーラー事業の受注も堅調に推移することから、売上総利益は計画を上回る見通しです。また、グループ全体で引き続き販売費及び一般管理費低減を推進したことにより、連結営業利益は18億円（前回予想比3億円、20.0%の増加）、連結経常利益は15億50百万円（同3億15百万円、25.5%の増加）となる見通しです。

連結当期純利益は5億20百万円（同50百万円、10.6%の増加）となる見通しで、その主な理由は以下の通りです。

- ① 経常利益が3億15百万円増加すると見込まれること
- ② 平成23年11月に逝去した代表取締役会長 故三柴元の社葬関連費用として47百万円を特別損失に計上したこと
- ③ 平成23年12月2日付けで公布された「経済社会の構造変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、平成25年3月期以降に適用される法人税率が変更されることに伴い実効税率が引き下げられるため、回収が見込まれなくなる繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額（税金費用）138百万円が増加したこと
- ④ 平成24年4月の当社完全子会社3社（株式会社ラック、エー・アンド・アイ システム株式会社、株式会社アイティークルー）の吸収合併に伴う繰延税金資産の再評価による税効果として、法人税等調整額（税金費用）75百万円の減額が見込まれること

・ 業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以 上